

審判員マニュアル

＜大会における感染予防に向けて＞

(一財)石川陸上競技協会

【総務・総務員・審判長】

- 審判・補助員・選手待機場所について3密にならないよう注意を払う。サブの雨天走路・スタンド裏通路など分散方式をとる。密集を避けて配置する。
- 通気性を確保し換気の悪い室内等は利用しない。夏の暑い時期にクーラー使用時は定期的に換気を実施か、数カ所窓などを開ける。
- 審判や競技者、補助員などソーシャルディスタンスを保つ配置とマスクや部署によりフェースシールドなど着用するよう指示する
- テントなどで選手を待機させる場合、密集しないよう指示する。
- 審判控え室は、本部室・会議室・トレーニング室を利用を指示する。
- 補助員は最低限の人数にしぼり審判を主に対応協力をお願いする。待機場所は雨天走路で部署毎に配置。
- 各用具類や鉛筆やトランシーバーなどは終了後、消毒する。
- 審判控え室の椅子や机、ドアノブなども消毒する。
- ゴミ箱は使用させず、ゴミ袋に集める。湯茶などは紙コップを使用する。

【役員・選手受付】

- ・マスク着用・フェースシールドやビニールカーテンなどを設置する。
- ・朝の検温を必ず行い、その結果は必ず大会総務へ報告する。
＜37.5℃以上は参加許可しない＞
- ・各学校の競技者・補助員は顧問から体調管理チェックシート提出を受ける。大会総務員へ提出する。
- ・審判・報道・一般競技者は受付を必ず行い、その際に検温と体調管理チェックシートを記入させ、提出する。検温結果を記録しておく。提出無き者は参加できない
＜大会総務員（総務部長）へ提出、1ヶ月は保管します。＞
- ・大会当日体調管理チェックシートの予備用紙準備する。（報道関係や関係役員の分を記入させる）
- ・審判に以下の内容を連絡する。
 - * 審判業務終了後は必ず手洗い・うがい・手の消毒を行う。（マスク着用も）
 - * マスクの着用していない者には着用することを促す。
 - * ハンカチなどは各自で準備させ、ゴミはすべて個人で持ち帰らせる。

【本部記録・情報】

- ・ビニールカーテンを設置する。
- ・記録掲示板は男女別・トラック、フィールド別に準備し、密にならないように配置する。
- ・必要に応じて、手洗い・手の消毒を徹底する。

【写真判定】

- ・必要に応じてフェースシールドも着用する。
- ・最小限の人数を部屋に入れ（換気に注意）、密を減らす。
- ・写真判定室下のスタンド付近も活用する。手洗い・手の消毒をこまめに実施する。
- ・機材使用者が変わる際は、できる限り機材などの消毒を行うが、アルコールに不都合な機材には消毒シートで対応する。
- ・部屋が狭く、ソーシャルディスタンスをとりにくいので換気をしっかり行うようにする。

【出発】

- ・フェースシールド着用、必要に応じてビニール手袋着用する。
- ・最終点呼時間に1組ごとに集合させて、最終点呼をとる。
- ・スタートに入る際は、1人ずつ手の消毒をさせてから入らせる。〈リレーは1走のみ手の消毒をさせる〉
- ・選手の待機場所は、テント内、もしくはダッグアウトを活用し、密を防ぐ対応で指示する。選手同士の会話は避けさせる。
- ・スタプロ・レーンボックスは全競技終了後、バトンはレース終了後できる限り消毒をする。
- ・補助員には、マスクとビニール手袋を着用させる。

【スターター・リコールスターター】

- ・フェースシールドとビニール手袋を着用する。
- ・補助員はマスクとビニール手袋を着用する。
- ・ピストルは、レース後消毒を行う。
- ・ビデオカメラ使用の際は、3脚を利用し、使用者にはビニール手袋を着用する。
- ・スピーカーは使用后必ず、電源を切る。
- ・マイクは使用后必ず消毒する。

【周回・決勝・計時】

- ・器具使用後は、消毒をお願いする。ストップウォッチは消毒シートしよう。
- ・できる限り間隔を空けて審判配置を実施する。
- ・周回は横並びで対応する。
- ・周回板担当は、フィニッシュ手前で対応し、トラックより1m離れて設置する。
- ・800m以上で対応し周回と決勝は兼任、計時は2名以内までとする。

【監察員】

- ・椅子や旗、器具などは、使用后消毒し、間隔を空けて後始末する。今までの場所への後始末から、器具庫のスペースを考慮して保管する。
- ・通常の配置場所から少しトラックから1m離れて待機する。
- ・トランシーバーは、できれば同じ人が持つようにし、交代する場合は、消毒シートで拭いて交代する。

【マーシャル】

- ・ゴール後の選手を誘導する際は、フェースシールドとビニール手袋を着用する。
- ・選手が待機中や、スタンドなどで密になっている際は注意する。
- ・大声での応援、集団応援などは注意する。
- ・ゴール後、退場する際は手洗いや手の消毒をするよう呼びかける。

【ウォーミングアップ係】

- ・選手同士の間隔を十分に取り、3密を凶るよう呼びかける。
- ・雨天走路を利用する際は、換気を必ず取るようにする。(晴天時は使用させない)
場合によっては、雨天時に選手待機場所として活用させるので、雨天走路での練習は使わない。
- ・投擲種目は練習日程時間を計画して投擲場で行わせる。(競技時間の工夫)

【アナウンサー】

- ・必要に応じてフェースシールド使用する。
- ・マイクや機材は、交代時や競技終了後は消毒をする。
- ・状況に応じて定期的に、3密を避け、マスク着用の呼びかけアナウンスを行う。

【競技者係】

- ・最終点呼は現地実施方式をとり、一次招集では欠場者は必ず招集開始時刻までに×をつけるよう指示する。・・掲示板を利用し男女別・トラック・フィールド別に4枚設置する。
- ・選手の移動は各自で最終点呼時間までに現地集合を指示する。
- ・レーンナンバーを配布する際は手渡しを避け、レース後に競技者で返すよう指示する使用後は番号ごとにナイロン袋に入れるようにし、同じモノを使用しないように分けて置いておく。大会後は洗濯する。
- ・最終点呼では密集にならないよう組ごとに工夫して行うこと。
- ・競技者の待機場所は密集するので、場所を工夫するか2~3組ごとに集合させるようにする
- ・必要に応じて、ゲート外やダックアウトも活用して競技者を待機させる。

【フィールド審判】

- ・3密にならないよう指示し、選手同士の会話は避けさせる。
- ・審判・補助員の配置が密集しないよう工夫する。補助員は最小限に配置する。
- ・選手の待機場所は、間隔を開けるよう配置する。入退場はゲートの外を利用する。
- ・競技終了後に器具などを消毒する。すべり止め粉などは担当者より渡す方が好ましい。
- ・競技終了後は、ベンチなどをアルコールシートかアルコール消毒で消毒する。
- ・投擲種目では、1投ごとに槍や円盤などはアルコール消毒する。
- ・競技者呼び出し係は、必要に応じてフェースシールドを着用する。
- ・跳躍では、雨天走路での練習はさせない。

【用器具】

- ・用器具を準備、後始末する際は、ビニール手袋などして対応する。
- ・競技終了後、各部署ごとの用具を運んできた際にはできるかぎりアルコール消毒できる器具は消毒を指示する。アルコール消毒できない物は、消毒シートなどを活用する。(マットやスタンド、ハードル、ゴールタイマー、各種タイマーなどは必要ない)
- ・紅白の旗や観察用の旗などは、消毒後、棚などにかけて干すようにする。
- ・消毒用タオルの準備。(総務より事前に受け取る)

【大型スクリーン係】

- ・競技終了後や審判が交代する際、各種ボタンやレバーなど機材周辺はアルコール消毒をする。
- ・密閉がないよう、定期的に換気に努める。
- ・ライブ配信(ビデオカメラ担当)の準備と対応・・業社との打ち合わせを行う。

【風力係】

- ・ボタンなどで操作する機材は、競技終了後は消毒をする。